

令和8年2月8日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙公報

(第1区)

新潟県選挙管理委員会

今回の解散総選挙で予算案審議の遅れは必至、国民生活が軽視されています。裏金問題もまだ終わっていません。

分断と対立の政治を変える。ともに生き、支え合う社会をつくるために、私は全力を尽します。新潟と佐渡の皆様のお声を、これからも誠意をもって国政に届けます。

円安インフレに注意しながら、税制や社会保障を見直します。

介護・福祉の現場で働く方々の待遇を改善し、非正規でも望めば正規になる働き方を拡充します。

新潟と佐渡の農業漁業は、食料保障を支える重要なものです。農家の皆さんへの直接支払いによる所得補償をめざします。

西村ちなみは、一人ひとりの思いに寄り添い、対話し、行動します。

衆議院議員候補 西村ちなみ

西村ちなみ1年3か月間の活動の一端

- 衆議院法務委員長として、えん罪被害者のための刑事司法の議論をリード
- 観光等で来られる方の離島航路運賃低減法案とりまとめ
- 水俣病被害者とともに歩む国会議員連絡会会长
- 豪雨による土砂災害に遭った単一の農家への支援の道をひらく

共感力と実行力のある政治家を国会へ

日本と 新潟・佐渡の、 未来のために。

- 医療・介護・障がい福祉・教育など、ベーシックサービスの拡充
- 給付付き税額控除制度の早期導入
- 円安インフレに注意しながら、食料品などの物価引き下げ
- 原発に依存しない社会、再生可能エネルギーの最大限導入
- 気候変動対策と食農支払いでの農林水産業支援
- 拉致被害者の一日も早い帰国を
- 裏金問題にはきちんとけじめをつける

プロフィール／1967年、旧吉田町に生まれる。三条高、新潟大法卒業。新潟県議会議員を経て2003年、衆議院議員当選(7期)。外務大臣政務官、厚生労働副大臣、立憲民主党幹事長、同代表代行、衆議院法務委員長を歴任。新潟市中央区在住。



国会の今をつぶやいています。ぜひご覧ください。

政治家、西村ちなみのYouTube公式チャンネルです。

西村ちなみ 公式HP



西村 ちなみ

比例代表は 中道改革連合

Centrist Reform Alliance

1人の小さな挑戦は
いつか誰かの夢になる

01 あらゆる産業の活性化。
声を聴き、届ける。
産業は福祉の糧。

現場の声を丁寧に聴き届け、地域産業を支え、
福祉の基盤となる経済を強くします。

03 防災減災。
命を守る。

災害から命を守る仕組みを
地域の実情に合わせて整備します。

05 全員参加型の
社会をつくります。

障害があってもなくても、
共に生きられる共生社会を実現します。

02 物価高対策。
皆さんの声を国に。

生活の負担を軽減するため、
皆さんの切実な声を国政へ
確実に届けます。

04 新潟県の
拠点性の向上。

特に新潟1区は空港、港湾、高速、駅、
世界遺産が揃い、ここの活性化なしに
新潟県の活性化はないと考えます。

06 拉致問題。
時間がない。

時間が残されていないとの
強い危機感を持ち、解決に向けて
積極的に行動します。

ごあいさつ

内山航と申します。私はどこにでもいる普通の子どもでした。勉強はそこそこ、特に青春時代にこれに打ち込んだ!という自慢できるものもなく、おとなしい、目立たない生徒だったと思います。運動は小学校から野球部に所属し、一生懸命やっきましたが、高校の時に退部。当時の監督から「1度の挫折は2度3度の挫折を生むぞ」と言われ、以来、諦める前にこの言葉を思い出すようになりました。市議を続けながら新聞配達が10年続いたのも、あの時の監督の言葉があったからです。大学卒業後、長岡市のパチンコ店で勤務していた時に、大学時代の先輩から政治の世界に誘ってもらったことをきっかけに、この世界に入りました。当時24歳。あれから20年。落選も経験しました。新聞配達も10年間やってきました。

新潟市議会議員約10年の経験の中で、地域に密着して様々な声を聴き、市や県議会に届け、形にできたものも、できなかつたものもあります。今の新潟は国へのパイプがとても細くなっています。これを何とかしなければ、という思いが日に日に強くなっていました。

プロフィール

・1981年6月11日生まれA型
内山真写館(イタリア軒写真室)の長男として生まれる
・妻・子供4人(上の子供達はすでに独立し、現在4人家族、孫2人)
・趣味:温泉、ドライブ、サウナ
・好きな食べ物:カルボナーラ、硬いリンゴ
・信条・モットー:実があるなら今宵一夜明ければみんな来る」「今日もきっと、いいことがある」

■主な経歴
愛東幼稚園・上所小学校・鳥屋野中学校・新潟江南高校を卒業後
新潟大学経済学部経営学科卒業
会社員・国会議員秘書(約10年)・新聞配達(約10年)等を経て
・2015年/新潟市議会議員に初当選(34歳)
・附属新潟中学校 父母教師会 会長
・新潟信濃川ライオンズクラブ 会長
・新潟青年会議所 専務理事
・2023年/新潟市議会議員に3期目の当選
・2025年/自由民主党新潟県第一選舉区支部 支部長に選出

■現在の所属等
・自由塾 IKINUKI 勉長
・宮浦中学校PTA会長
・新潟江南高校 同窓会・後援会 副会長

比例代表も
自民党へ



内山こう

自民党公認



小池さちお

参政党公認

I am JAPAN

“3つの柱と9の政策”

1 日本人を豊かにする

～経済・産業・移民～

1 “集めて配る”より、まず 減税

減税と社会保険料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。

2 日本はまだ間に合う“NO! 移民国家”

労働力不足の解決を、安い移住依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受け入れと外国人の土地取得を制限します。

3 現場の人 が支える日本

製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくります。

比例は 参政党 とお書きください。

ひとりひとりが日本

今、我が国は危機的な状況に直面しています。30年に渡る景気低迷。苦しくなる一方の国民生活。世界では紛争が続き、食料自給率の低下、エネルギー問題、少子化や移民問題など、国の存亡に関わる課題は手つかずのまま。明るい未来が見えない社会情勢の中で、子供たちは受験競争にもがき苦しめ、家族観や結婚観という日本人らしいアイデンティティは破壊されようとしています。この状況を解決するには、日本人のひとりひとりが立ち上がるしかありません。政治家やテレビや新聞に任せることではなく、ひとりひとりが日本そのものであると自覚し、考え方行動する時がきたのです。「ひとりひとりが日本」未来を変えるのはあなたの覚悟と想いです。日本はまだ間に合う。

2 日本人を守り抜く

～食と健康・一次産業・エネルギー～

4 食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給力を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。

5 エネルギーと資源確保が 生命線

諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。

6 安心医療で 健康国家

過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

3 日本人を育む

～教育・人づくり・国家観～

7 子ども一人につき 月10万円

0~15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくります。

8 受験戦争 からの解放

偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正当に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。

9 日本はみんなの 家

日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。

小池さちお プロフィール 「変えよう、自分たちで！」
1972年生まれ。53歳。新潟県佐渡市出身。佐渡市在住。
新潟県立相川高等学校卒業。会社経営（運動教室など）

参政党の政策は▶
こちらの特設サイトから！



令和8年2月8日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙公報

(第1区)

新潟県選挙管理委員会

原発再稼働
ストップ

立憲主義
平和主義

国民の
くらし第一

ブレずにつらぬく!

国民の暮らし最優先の政治へ、自民党政治そのものを変えます

暮らし 大株主・大企業応援から、
国民のくらし第一の政治に

- ▼物価高騰を上回る大幅な賃上げ
最賃時給1700円へ。中小企業を直接支援。
- ▼1日7時間労働、週35時間制
賃上げとセットで、『自由な時間』を増やす
- ▼消費税の廃止をめざし、緊急に5%に減税
- ▼診療・介護報酬増額
- ▼学費値上げ中止。教育予算を増やし、半額、無償化に。
- ▼農業を国の基幹産業に位置づける
安心して再生産できる価格保障・所得補償

財源 大企業・富裕層へのゆきすぎた減税を見直し、3年で2倍にもなつ
た軍事費を削れば、消費税減税や社会保障の財源をつくれます。

平和 「力の支配」をふりかざすアメリカいいなり
をやめ、外交の力で平和をつくる自主自立の日本を

- 大軍拡・戦争国家づくりは許しません
- 憲法9条を生かした外交の力で平和な日本とアジアを

人権 一人ひとりの人権、個人の尊厳が大切
にされる社会に

- 選択的夫婦別姓制度実現
- 同性婚を認める民法改正
- 差別と分断をあおる政治をやるしません。

日本共産党  日本共産党 
ホームページ 

比例
代表は 日本共産党 とお書き
ください

安心と希望の政治を
いま日本の政治は、多くの党が右
へ右へとなびき、政治の中身では自
民党政治にのみこまれる状況がうま
りえられています。これで国民の願いにこ
たえられるでしょうか。
日本共産党は、高市自民・維新政
権と正面から対決し、自民党政治そ
のものを変えることを訴えます。
暮らし・平和・人権、国民のため
にブレずにはたらく、新潟1区は中
村たけお、比例代表は日本共産党を
お願いいたします。

プロフィール ●1975年旧新井市生まれ。
新潟大学理学部卒、同大学院自然科学研究科修了。新潟勤労者医療協会に22年
勤務。沿垂診療所事務長、下越病院入院
医事課長などを務める。【趣味】読書、料理、
アウトドア、旅行、水泳。



中
村
たけお
日本共産党

新潟から日本を守る!! 新潟発「新潟八策」

- 1 「身を切る改革」を断行し、国民の政治への信頼を取り戻す。
- 2 新潟空港新幹線乗り入れを早期実現し、新潟を日本唯一の対災拠点に変える!
- 3 「国民の命と暮らしを守るまちづくり」を実践し、疫病・災害等への危機管理を徹底する。
- 4 社会保障改革を断行し現役世代の手取りを増やす。
- 5 【副首都構想】の一環として、新潟に首都機能のバックアップ機能をもたせる。
- 6 「エネルギーの世界を変える大胆な施策」を掲げ、新潟を日本のエネルギー拠点へと発展させる。
- 7 「拉致問題全面解決」「日本海安全保障体制の確立」を目指し、新潟を日本海側の防衛拠点として機能させる。
- 8 「時代に即した憲法改正」及び「国民の声を反映した政治」の達成に向け、常に新潟から日本の政治を動かし続ける。

実現すべきは 国民の所得向上 ⇄ 消費拡大 ⇄ 経済の成長 の連鎖!

今日よりも明日に希望がある!

今年よりも来年の方がみんなが『豊か』になっている! そういう日本をつくる!

新潟・維新改革!!

「身を切る改革」断行

議員定数削減の他、議員報酬を経済指標に連動させることで経済がマイナス成長になった場合(コロナ禍による飲食店の時短営業、等)には議員報酬も減額させ、「身を切らせる」ことによって自らが持つ責任の自覚を促します。

「ヒト・モノ・カネの動きを呼び込む経済活動」促進!

不況下における市民税減税など適切なマクロ経済政策を促進すると共に税の投入先を事業者サイド(企業)から消費者サイド(市民)へ移し、市民の可処分所得を増やします。

「街づくりは人づくり」将来世代への徹底投資!

私学を含めた教育無償化、妊婦検診の無償化を始めとした出産費用の軽減を実現し、将来世代への投資を促進することで市の人口減少に歯止めをかけます。

「日本海安全保障体制」の確立!

自治体と国の連携強化を図り、新潟市を広域首都圏の防災拠点とすることによって、新しいテーマのもとで新潟市のインフラを整備し直します。



いとう
かずなり
和成